

都市の成長エンジンとなる都心まちづくり 「にいがた2 k m」^{に き ろ}

1. はじめに

JR新潟駅の約60年ぶりのリニューアルを契機に都心部では再開発が進展し、本市のまちづくりは大きな転換期を迎えています。さらに、「佐渡島の金山」の世界文化遺産への登録という好機を追い風として、都市の新たな魅力創出を加速させていくため、都心のまちづくりに一層力を注いでいます。

2. 都心のまちづくり「にいがた2 k m」

新潟駅を起点として、隣接する万代エリア、国の重要文化財である萬代橋を渡り古町エリアへとつながる、新潟駅から古町までの約2 k mの都心軸周辺エリアを「にいがた2 k m」と名付け、様々な施策を展開しています。

この名称には、市民や企業の皆さまに新潟のまちづくりをより身近に感じていただき、都心へのワクワク感や期待感につなげていきたいという想いを込めています。

令和3年9月には都市再生緊急整備地域の指定を受け、再開発事業や優良建築物等整備事業、戦略的な企業誘致を推進してきました。その結果、老朽化したビルの建て替えが進むとともに、先進的なデジタル技術を持つIT企業をはじめ50社以上が進出し、若者にとって魅力ある雇用と働く場が生まれています。

「にいがた2 k m」の強みは、人・モノ・情報が集積する本市の中核であり、日本海側有数の飲食・宿泊・商業機能に加え、IT関連企業の集積が進んでいる点にあります。これらの資源を最大

限に活かし、ビジネスやにぎわい、新たな価値を創出することで、地域経済をけん引し、市域全体へ活力を波及させる「成長エンジン」として、「地域の外から稼ぐ」戦略を官民一体となって展開しています。

その取組の1つが、ウォーカブルなまちづくりの推進です。国土交通省のウォーカブル推進都市の認定を受け、まちなかを居心地が良く、人中心の都市空間へ転換する取組を推進しています。ウォーカビリティの向上により、都市の回遊性向上や消費促進を図るとともに、地価の上昇や沿道建築物の更新によるオープンスペースの創出など、相乗的な効果を生み出していきたいと考えています。

なかでも「東大通道路空間再構築事業」は、新潟駅から萬代橋につながる幹線道路の東大通（延長約170m、幅員約50mの県道）に、人中心の魅力的なパブリックスペースを創出し、都市の価値を高める駅前空間づくりを目指す取組です。現在の片側4車線の道路空間を、人中心のウォーカブルな空間へ再編するため、社会実験を重ねながら官民協働で具体化を進めています。

3. JR新潟駅のリニューアル

「にいがた2 k m」の起点でもあるJR新潟駅は、平成18年に連続立体交差事業が事業認可されました。鉄道在来線約2.5km区間の高架化に加え、南北市街地を結ぶ幹線道路や生活道路の整備、駅前広場の拡張整備を進めています。

平成30年の部分開業を経て、令和4年6月には、60年ぶりとなる新駅舎とともに、全線の高

新潟市長 なかはら 中原 やいち 八一



架化が完了しました。

従前は線路によって分断されていた駅西側の市街地では、踏切の撤去や都市計画道路等の整備により、南北を行き来する交通量が1.5倍に増加しました。また、住宅地に面した旧踏切道では自動車交通流入量が半減するなど、まちの安全性と利便性の向上が図られています。

高架駅直下では、令和6年3月に駅の南北に分散していたバス乗り場を集約したバスターミナルの供用を開始しました。これにより、駅の南北を結ぶバス路線の新設・再編や、バスと鉄道の乗り換え利便性が大きく向上するとともに、歩行者は24時間、地上レベルで駅の南北を通行できるようになりました。さらに、同年4月の駅ビル商業施設「CoCoLo新潟」のグランドオープンも相まって、駅におけるバス乗降客数が約15%増加するなど、交通結節機能の強化に加え、にぎわい創出の効果も着実に現れています。

現在、駅の北側正面では令和9年春の完成を目指し、駅前広場「万代広場」の整備を進めています（写真）。連続立体交差事業により駅をスリム化したことで従前の約2倍の面積を確保し、バス・タクシー等の交通機能に加え、本市が誇る水と緑の風景をモチーフとした、多目的に利用できる広場空間を整備しています。

連続立体交差事業を契機として、新潟駅エリアでは、広域交通や経済活動の拠点性向上とにぎわい創出に向けた取組を引き続き推進してまいります。



整備中の万代広場（令和8年4月撮影）

4. おわりに

JR新潟駅のリニューアルを契機に、都心に集積する高次都市機能の役割を最大限に発揮しつつ、「地域の外から稼ぐ」戦略と「将来世代から選ばれる」戦略を、官民連携のもと着実に進めていく必要があります。本市の強みを生かし、人口減少時代においても躍動する「活力あるまちづくり」と「持続可能なまちづくり」の実現につなげていくことが、「にいがた2km」の重要な役割であると考えています。今後もスピード感を持って施策を推進してまいります。

令和8年9月には、一般社団法人全日本建設技術協会の建設技術講習会が新潟市で開催されます。同講習会の現場研修では、令和9年春の供用開始を目指す新潟駅前広場整備の進捗を視察いただく予定です。加えて、新潟駅から2km圏内には、国の重要文化財である萬代橋や名勝・白山公園をはじめ、新潟の地酒や日本海の幸など、多彩な魅力が集積しています。皆さまのお越しをお待ちしております。